

宇都宮農業協同組合 第22回通常総代会

特集

第22回通常総代会

農業生産拡大をはじめとした「創造的自己改革」

J Aは5月27日、第22回通常総代会を宇都宮市のホテル東日本宇都宮で開きました。総代548人のうち、544人（書面提出513人）が出席。平井清司さん（姿川支所）と田中孝男さん（河内支所）が議長に選任され、「令和元年度事業報告および剰余金処分案の承認について」「役員選任について」など全6議案が、慎重審議の結果、すべて原案通り承認されました。

【第22回通常総代会 提出議案】

【報告事項】令和元年度貸借対照表、損益計算書、注記表および附属明細書の内容ならびに会計監査人の監査報告および監事の監査報告について
【決議事項】令和元年度事業報告および剰余金処分案の承認について

第2号議案 定款の一部変更について

第3号議案
信用事業規定の一部変更について

第4号議案
令和2年度事業計画の設定について

第5号議案
令和2年度理事および監事の報酬について

第6号議案
役員選任について

令和元年度の事業報告

昨年5月の通常総代会で承認をいただいた3か年計画および事業計画にもとづいて、「創造的自己改革の実践」を目標に①農業者の所得増大・農業生産の拡大②地域の活性化への貢献③経営・財務基盤の強化等を柱として事業に取り組み、組合員・地域住民の皆様の理解醸成を進めてまいりました。

【販売事業】

米の取扱高は台風などの影響により作況が97の「やや不良」だったものの、元年産主食用米の販売が進んだこと、園芸では台風被害による出荷遅れや暖冬の影響を受けたこと、また畜産物は肉牛・肉豚の出荷頭数が計画を上回り、前年度比101・3%の165億70百万円になりました。



【購買事業】

生産資材は、資材価格の引下げに努めました。園芸資材や農業機械は消費税増税前の供給が増加し、前年度比94・3%の66億37百万円になりました。

【金融事業】

各種キャンペーンを展開しましたが、貯金残高は17億円減少し、2,858億円になりました。一方、貸出金は、住宅ローンキャンペーンの実施やアグリマイテイー資金等の獲得に努めましたが、前年度比27億円減少し、565億円になりました。

【共済事業】

組合員・利用者の満足度向上を目指し、「3Q（サンキュー）訪問活動」などに取り組みました。が、建物更生共済の新規加入の減少等により、新契約高が531億円になりました。

【総合収支】

事業利益	2億77百万円	(前年度比100・1%)
経常利益	6億86百万円	(前年度比125・1%)
当期剰余金	5億96百万円	(前年度比133・1%)
自己資本比率	(剰余金処分後) 16.83%	

厳しい情勢下にもかかわらず、組合員皆様のご理解と協同の力の結集により、年度計画を達成することができました。ことに対し深く感謝を申し上げます。

令和2(2020)年度事業計画

(1) 担い手の期待に応える生産資材価格の実現

(2) 生産技術支援等による労働生産性の向上

5 新たな担い手の育成や担い手のレベルアップ対策

(1) 新規就農者対策の強化

(2) 集落営農の組織化・法人化の取り組み

6 営農・経済事業の経営資源の強化

(1) 営農・経済部門の人材育成

(2) JAにおける営農・経済事業体制の強化

(3) 農業関連施設の集約・広域再編

7 持続可能な農業の実現に向けた農業政策の提案・確立

(1) 政策支援の充実を求めるための農政活動の強化

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦

1 担い手のニーズに応える個別対応
2 担い手に出向く体制の整備・充実
3 マーケットインに基づく生産・販売事業方式の確立
4 土地需要に応じた土地利用型作物（米・麦・大豆）の生産振興
5 園芸振興の強化と販売の拡大
6 JA農産物直売所の運営強化
7 農産振興の強化と販売の拡大
8 消費者との信頼を築く食の安全確保策

(2) 組合員のメンバーシップ強化

(3) 地域ブランドの強化

1 「食」「農」「協同組合」にかかる国民理解の醸成

(1) 一体的な広報機能の発揮

2 多様な広報手段を活用した情報発信の強化

(2) JA農産物直売所を活用した情報発信

(3) 広報紙やウェブサイト等および各種メディアを活用した情報発信

(4) JA農産物直売所を活用した情報発信

(5) 食農教育や地産地消、地場産農畜産物の消費拡大PR（みんなのよい食プロジェクト）

1 「地域の活性化」への貢献

1 地域実態・ニーズを踏まえたJA事業とJAくらしの活動の展開

(1) 多様な拠点を活かした生活インフラ機能の発揮

(2) JAくらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

(3) 介護保険事業を通してセーフティネット機能の発揮

(4) 地域の多様な組織との連携強化による役割発揮

(1) 地方公共団体等との連携強化

(2) 農作業安全対策の連携強化

1 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立

2 正・准組合員のメンバーシップの実践

3 財務基盤の強化

(1) 不稼働資産の利活用・処分

(2) JAの事業伸長を支える各事業の実践

(3) 消費者との信頼を築く食の安全確保策

1 組合員の学びの場づくりの実践

(1) 組合員の学びの場づくりの実践

防護服量産に向けて 農業用ビニールシート提供



新規栽培導入者が技術学ぶ 梨専門部ジョイント研究会

梨 専門部ジョイント研究会は3月27日、新規栽培導入者を対象にした接木講習会を宇都宮市内の圃場で開催し、研究会員、県の担当者、関係者13人が参加しました。

ジョイント栽培は、早期成園化と省力化を実現する技術です。相場照久会長はじめ、ジョイント栽培のベテラン生産者が、新規のジョイント栽培導入者を指導し、接木の原理の説明をした後、これまで体験した失敗談や成功例を交えながら実演をしました。

昨年から丁寧に仕立てて、3～4年に伸長させた苗木を隣に定植した苗木の基部に接ぐ作業を行いました。ジョイント栽培の管理で、その後の生育にも影響が出る最も大切な作業といわれています。

新規導入者は、技術向上を目指し、先輩たちのアドバイスのひとことに注意を払い、実技も真剣な表情で学び、終始、活発な意見交換が行われました。



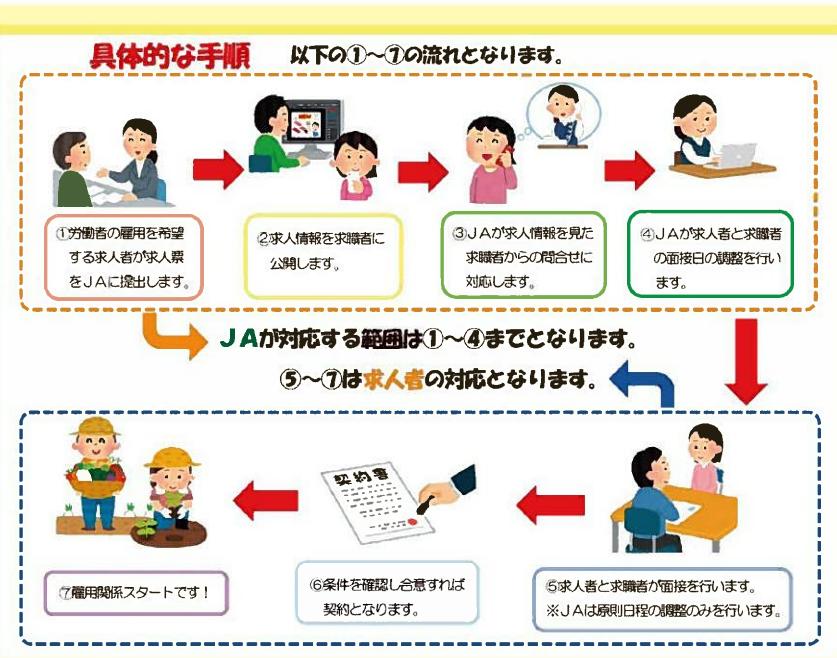
新入職員が先輩職員と交流 令和2年度新入職員研修会



JA うつのみやは4月16日、本所にて令和2年度新入職員研修会の一環として、先輩職員との交流会を開催。新入職員29人と各部門の先輩職員4人が参加しました。

今回の研修会は新入職員にJAうつのみやのことをより深く理解してもらい、社会生活や業務についての疑問を解消するために開催。新入職員は先輩職員の普段の業務内容や業務中の出来事などの話を聞き、業務の理解醸成に勤めました。また、先輩職員へ疑問を投げかける場面も見られました。

今回の研修会で新入職員は、これから業務にあたる際の心構えなどを学び、5月からの業務への不安と疑問を解消することが出来ました。



労働力にお困りの方 農業専用の求人募集サイトを活用しませんか？

JAうつのみやはWEBサイトを活用しアルバイトやパート従業員等をお探しの求人者（農業者）と農作業を希望する求職者のマッチング・紹介・斡旋を行います。
求人を希望される方は営農経済センターまたは営農企画課へご連絡ください。

お問合せ先 最寄りの営農経済センター または 営農企画課まで (TEL : 028-611-3738)

雇用に関するトラブル防止及び雇用を円滑に行い、適正雇用を図るために労働関係法令を遵守してご利用いただきますようよろしくお願いいたします。



JAうつのみやの取り組み!



JA

は4月22日、JAグループ栃木が推奨する「たべる！ のむ！ かざる！ 栃木応援プロジェクト」の一環として、本所はじめ各支所、各営農経済センターなど25カ所にユリやバラの花束を飾りました。各支所などは早速、花瓶に生けた花束を飾り、来訪者の心を癒すことに一役買っています。

2018年の農業産出額全国第9位(2018年)の農業県です。その産地を支える農家は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で農畜産物の消費が低迷し大変苦しんでいます。支所内に花束を飾った南部支所では、時間待ちする来訪者の心を和ませるために4月、同プロジェクトを立ち上げました。所長は「職員や来訪者の気持ちを和らげるとともに、花き類の販売促進にもつながる一石二鳥の素晴らしい企画だ」と喜んでいました。

JAグループ栃木

たべる！ のむ！ かざる！ 栃木応援プロジェクト



コロナで消費が低迷した農家と産地を応援！

農家が元気に安定的に、安全・安心・新鮮・おいしい農畜産物を消費者のみなさまにお届けできるよう、県産農畜産物を購入して応援しよう！

栃木県は、農業産出額全国第9位(2018年)の農業県です。

その産地を支える農家は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で農畜産物の消費が低迷し大変苦しんでいます。

食べて応援



食べて元気アップ!!



外食機会や、海外からの入国規制等により観光客が減少し、特に牛肉や豚肉の消費が低迷しています。

飲んで応援



飲んで免疫力アップ!!



学校の休校の影響により給食等で牛乳を消費する機会が減少しています。

飾って応援



大切な方に感謝をこめて花をプレゼント!!



イベントの中止や自粛によりお花を飾る、贈る機会が減少しています。



安全・安心で新鮮・おいしい栃木県産農畜産物を写真とともにSNS等で一緒に発信してください!!

ハッシュタグ例

#とちぎ #栃木 #地産地消 #消費拡大
#コロナに負けるな #栃木応援プロジェクト
#JAグループ栃木

とちぎの農畜産物および当プロジェクトの詳細は、次のホームページを確認ください。

- JA栃木中央会 <https://www.tchchu-ja.or.jp/group/>
- JA全農とちぎ <http://www.tc.zennoh.or.jp/>
- とちぎ農産物マーケティング協会 [http://tochigipower.com/（地産地消推進店を掲載）](http://tochigipower.com/)
- 栃木県「コロナに負けるな！とちぎの地産地消元気アップ運動」
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g01/shokuiku/kyara/coronatisantisyou.html>

JAグループ栃木/JA栃木中央会・連合会



南部支所に飾られ、来訪者の気持ちを和らげた花束

宮

農

情報

水稻



いもち病の防除

近年、県内圃場からQ.O.-剤耐性稻いもち病菌の発生が確認されました。

耐性菌の発生・拡大防止のため、稻いもち病防除に、Q.O.-剤を含む薬剤の使用は避けましょう。やむを得ず使用する場合は、年一回以内として下さい。

稜葉枯病の防除

稜葉枯病の発生の多い地域で罹病性品種を作付けする場合は、箱施用剤と併せて本田防除による体系的な防除が重要です。早植は5月末～7月上旬、普通植は田植時～8月初めを力バーできる

ように防除しましょう。

稻こうじ病の防除

前年発生した圃場では防除を行いましょう。稻こうじ病に最も効果のある銅剤の防除適期は出穂10～20日前です。農薬の使用方法を守り散布を実施しましょう。薬剤については、表1を参考にしてください。農産物検査規格では、稻こうじが玄米へ混入した場合、規格外となりますので注意が必要です。

大豆



土づくり

大豆の吸収する窒素は根粒菌からの供給が一番多く、次いで土壌中、肥料と続きます。稻わらや麦稈の全量鍬込みや完熟堆肥、ようりん、苦土重燃焼等の施用により地力の低下を防ぎましょう。

播種期と播種量

『里のほほえみ』の播種適期は6月15日～7月5日です。播種が早すぎると倒伏や病虫害の発生が多く、遅過ぎると生育不良になるので注意が必要です。特に麦跡は播種が遅れないようになります。播種量は10ha当たり4.5～6kgを基準とし、播種時期が遅くなるにつれて株間を狭くします。播種前に種子消毒を必ず行いましょう。

「里のほほえみ」の品種特性に応じた栽培管理により、品質・生産量の向上を図ります。

連作回避

大豆の連作は土壌病害虫を増加させるとともに、地力を低下させ粒の小粒化や収量の低下をもたらします。このため、連作はできるだけ避け、やむを得ず連作する場合は2年までとするのが望ましいでしょう。

排水対策の徹底

畑作物の大豆は、発芽時だけでなく、生育期間中も湿害に弱い作物です。転換畑に作付するときは(1)地表水を速やかに排出する。(2)地下水位を低くするための作業が必要です。

排水不良の圃場は、周溝や圃場内に明渠を設けるなどの排水対策を積極的に続けます。



©みんなのよい食プロジェクト

みどり会 上三川支部の紹介



フラワーアレンジメント教室に参加したみどり会上三川支部のメンバー

みどり会上三川支部は、華道家元の北山恵美子先生を講師にむかえ「フラワーアレンジメント教室」を開催しました。

花を一本切るのも難しかったのですが、先生の優しい言葉と笑顔に励まされ、それぞれ素敵なお花の作品に仕上りました。



女性組織から
Newsletter

ニュースレター



きれいに仕上った作品

みどり会富屋支部 前年度の活動

美しい花に、
心ときめきます♡

きれいな寄せ植え完成！笑顔でパチリ(^v^)



みどり会富屋支部では前年度、北部支所で寄せ植え教室を開催しました。前支部長の竹原由美子さんが講師となって、寄せ植えの基本を指導していただき、楽しいひと時を過ごしました！

知って納得!
資産管理講座

こうち たかくに
税理士 河内 太邦

相続税の生前贈与加算とは

Q 父も高齢であり、いよいよ相続対策に手をつけたいこうと思っています。

よく、相続対策には贈与が有効だと言われていますが、相続が開始する前の3年間に贈与を受けた財産は、相続の時に戻されて相続税の課税の対象になると聞きました。これはどのような規定なのでしょうか？注意点などありましたら教えてください。

A ご質問の内容は、いわゆる生前贈与加算と言いまして相続税法に規定されています。この生前贈与加算が適用されるのは、次の要件を満たす人です。

- ① 相続や遺言で財産を取得した人
- ② 亡くなった方から、亡くなる前3年以内に贈与により財産を取得した人

そして、相続財産に加算される贈与財産は、贈与税の課税対象となるものと規定されています。

相続税の節税対策で贈与が有効だといわれるのは、贈与でもらった財産も、もらってから3年過ぎてしまえば相続税の計算に含めなくてよくなり、亡くなった方の財産の減少につながり、相続税も少なくなるというものです。

また、贈与税がかからない110万円の贈与を毎年行い、「贈与税がかからないから相続に戻さなくて大丈夫」という認識がある方もいらっしゃいますが、贈与税はかかるべくても、110万円は贈与を受けていますので、この場合でも相続財産に加算しなければなりません。

なお、生活費や教育費の贈与は贈与税の非課税財産と規定されていますので、生活費、教育費についてはこの生前贈与加算の適用はありません。

同様に、子供の自宅を建築する際、住宅取得等資金の贈与を行っていれば、その住宅取得等資金のうち非課税の適用を受けた部分は生前贈与加算の対象となりません。

法律税務相談日

6月19日(金)

無料ですが予約が必要です。

最寄りの支所へお申し込みください。相談時間は午後1時から先着受付順です。資産管理や土地有効活用などもお気軽にご相談ください。

けんこう ひやっか
健康百科

上都賀総合病院
健康管理センター
保健師
ひがの かな
日向野 加菜

便秘

1. 便秘とは

排便回数が少ない、排便後もすっきりしない、腹痛などの症状があるなど、排便に困難を感じることを「便秘」といいます。

2. 排便のメカニズムと便秘

人間は食べ物を口から摂取したのち、胃や小腸などで消化、栄養の吸収をし、最後に大腸で水分を吸収して便をつくります。そして、便がだんだんたまると便意を感じ、トイレに行って排便をする…という仕組みになっています。それまでの経路で何らかの原因が生じると便秘になります。便秘を我慢すると、長期間、大腸内に便がとどまることでどんどん水分が吸収されて便が固くなる、便がたまっていることに慣れてしまい、さらに便意を感じにくくなるというように、悪循環が生じてしまいます。そのため便秘を感じたら早めに何らかの対処をしましょう。それでも改善しない、症状がつらい場合には思い切って一度病院を受診することも大切です。

3. 便秘予防・解消のために

①1日3食摂取：極端に食事量を減らすと、便のかさも減り、便意をもよおしにくくなります。

②食物繊維を摂る

- ・水溶性食物繊維…水分を含み、便を柔らかくする。 例) 海藻類、こんにゃくなど

- ・不溶性食物繊維…便の量を増やすことで腸を刺激する。 例) きのこ、イモ、豆など

③水分を十分に：起床後のコップ1杯の冷水は胃や大腸を刺激してくれます。

④運動：運動不足は大腸の動きが鈍くなります。大腸の形状に沿って、「の」の字マッサージをすることも効果的です。

⑤ストレスをためない：自律神経の乱れは、便秘や下痢を引き起します。

⑥便意を我慢しない：習慣的に便意を我慢すると徐々に便意を感じにくくなってしまいます。また、便意を感じなくても食後にトイレにいき、排便リズムをつくることも大切です。

アグリド・ジャーナル 2020年6月号 No.267

【編集・発行】JAうつのみや 総務課組合員広報係 TEL028(625)3380 FAX028(627)3307

E-mail soumuka@jau.or.jp

JAうつのみや

検索

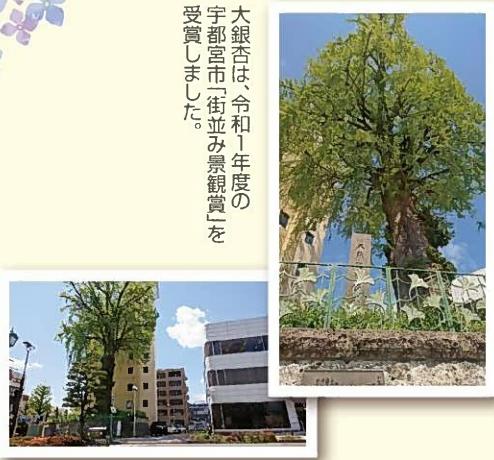
中央支所 だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



大いちょう

中央支所の隣、宇都宮市のシンボルで天然記念物の「大銀杏」が立っています。高さは、3階建ての中央支所よりも高い33メートル、樹齢は約400年。四季折々の見事な枝ぶりが見られ、秋には市内の有名な紅葉スポットとなりなり、皆を楽しむせんべれます。立つ場所が道路より段高のせ、宇都宮城三の丸土塁の跡で、昭和20年の宇都宮空襲の際は、樹皮が真っ黒に焼けるほどの被害を受けましたが、翌年には見事に新芽を吹き、みんなを勇気づけたと話す組合員さんが多くいらっしゃいます。感染症対策により出かける機会が限られ、予想もしなかったことが起る昨今、戦火を潜り抜け、今なお青々とした葉をつけ、私たちに勇気をくれる大きな銀杏の木を、みんなで見上げてみませんか。



大銀杏は、令和1年度の
宇都宮市「街並み景観賞」を
受賞しました。

中央支所の窓口でお待ちしております。

春の人事異動により、新たな窓口担当の職員となりました。今年の春は、密集を避ける取り組みにより、皆さんの紹介する機会が少ない」ととても残念に思っていました。中央支所では、金融3人、共済2人の窓口担当者が、安心感のある明るい対応を心がけています。春の店舗改装で、伝票などにまくらり座つて記入のできる記帳台とローカウンターも4台に増設となりましたので、ぜひお気軽にお来店ください。細やかなご会話を楽しめるのを楽しみにしてま



5人の窓口担当者が
対応します。

当支所南側の花壇には、毎年、みどり会中央支所部長の若上瀧さんや近隣の中央小学校4年生児童が植えてくれた花々がみんなを楽しませてくれています。春には、パンジーを中心とした花の花が来店者を出迎え、通勤や散歩の方に加え、わざわざ写真を撮りにこなしゃる方がいるなど、地域の方に好評をいただじており、みんなの自慢です。中央支所かい、少しでも明るい話題をお届けできるよう、夏の植え替えまで、一日でも長く花が咲き続けられるように、みんなで、大切に育てていきたいと思いま



お気軽に、ぜひご覧ください。

中央支所の花壇



各種お問い合わせはこちらへ

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル 0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミーリホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先 028-633-0085

支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3155		